



きれいな学校 輝く笑顔 ～J(授業) A(挨拶) S(清掃) MI(身だしなみ) N(仲間)～

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282 Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430
Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

「凡事徹底 当たり前のことが当たり前のできる学校に」～今年も JASMIN から始めよう～

校長 新井 敬二郎

いよいよ平成25年度がスタートしました。本日はご入学・ご進級おめでとうございます。本校では、おかげさまで121名の新生を迎え、総勢346名の生徒たちは、それぞれの夢に向かって、本日新しい第一歩を踏み出しました。「行きたい学校 帰りたい家庭 住みたい地域(おおくぼ)」を合言葉に地域の学校として、通いたくなる、胸を張れる大久保中学校をつくっていきたいと思います。

さて軽快なリズムに乗せた「あたりまえ体操」が流行しています。私も含め大笑いしていますが、同じ「あたりまえ」でも右の詩は少しニュアンスが違います。井村和清さんは、32歳の若さでこの世を去った医師です。井村医師が、ガンの発病によって自分の限られた命を知った時に、家族に残した手記の一つです。生きたくても生きられない、無念のまま死ななければならなかった井村さんのことを考えると、この「あたりまえ」がジーンと心に沁み込んできます。生かされていることに感謝して、あたりまえのことに喜びを感じ、幸せを感じ、周りの人に感謝して、一日一日を大切にしていきたいものです。

さて大久保中学校では、誰もが「**当たり前のことが当たり前のできる**」そんな学校をつくりたいと考えています。しかし、これが一番難しい。昨年度の学校評価アンケートの集計結果からも、皆さん(生徒)は、①あいさつができてい ②清掃に一生懸命取り組んでいる ③時間を守った生活をしている ④身だしなみが整っていると大多数の人が答えているのですが、先生方はそう思っていない。はっきり言ってまだまだです。本校のスローガンはJASMIN(ジャスミン)です。このJASMINが普通にできる学校が**当たり前の学校**なのです。

今年度も教職員一丸となって、**本気で頑張る生徒**を応援していきます。どうぞよろしくお願いします。

あたりまえ	井村和清
あたりまえ	こんなすばらしいことを、みんなはなぜよろこばないのでしょうか
あたりまえであることを	あたりまえであること
お父さんがいる、お母さんがいる	お父さんがいる、お母さんがいる
手が二本あって、足が二本ある	手が二本あって、足が二本ある
行きたいところへ自分で歩いていける	行きたいところへ自分で歩いていける
手をのばせばなんでもとれる	手をのばせばなんでもとれる
音がきこえて声がでる	音がきこえて声がでる
こんなしあわせなことがあるのでしょうか	こんなしあわせなことがあるのでしょうか
しかし、だれもそれをよろこばない	しかし、だれもそれをよろこばない
あたりまえだ、と笑ってすます。	あたりまえだ、と笑ってすます。
食事がたべられる	食事がたべられる
夜になるとちゃんと眠れ、そして又朝がくる	夜になるとちゃんと眠れ、そして又朝がくる
空気を胸いっぱいにする	空気を胸いっぱいにする
笑える、泣ける、叫ぶこともできる	笑える、泣ける、叫ぶこともできる
走りまわれる	走りまわれる
みんなあたりまえのこと	みんなあたりまえのこと
こんなすばらしいことを、みんなは決してよろこばない	こんなすばらしいことを、みんなは決してよろこばない
そのありがたさを知っているのは、それを失った人たちだけ	そのありがたさを知っているのは、それを失った人たちだけ
なぜでしょう	なぜでしょう
あたりまえ	あたりまえ

大久保地区小・中一貫教育目指す児童生徒像 「ふるさとを愛し 志高く生きる 心優しい大久保の子ども」